

◇第1日目（6月19日 土曜日）

主催校：常葉大学（オンライン）

【入室開始】9：15～

【開会式】9：45～9：55（A会場）

【午前前半の部】10：00～11：05

会場	A会場	B会場	C会場
司会	松田千恵子（東京都立大学）	狩俣正雄（滋慶医療科学大学）	高野一彦（関西大学）
10:00-10:30	研究発表1 中小企業の生産性とニューノーマルがもたらしたもの 中嶋康雄（ガバナンス研究部会）	研究発表3 日本企業におけるシェアードリーダースhipの可能性－株式会社ソニックガーデンの事例－ 和久健司（学生・法政大学大学院）	研究発表5 中小製造業における定住外国人への技能継承の可能性に関する一考察 早川和幸（学生・法政大学大学院）
10:35-11:05	研究発表2 理念という言葉の誕生・普及から経営理念のはじまりまで：「経営理念」という言葉の理想性・道徳性の原義に関する一試論 野林晴彦（北陸学院大学短期大学部）	研究発表4 日本の企業における個人の倫理性と仕事の意味深さ－中間管理者を対象とした分析と考察－ 本橋潤子（研究生・慶應義塾大学大学院）	研究発表6 コミットメントが非倫理的行動に及ぼす影響：マトリックス計算を用いた実証研究 池田泰三（学生・東京都立大学大学院） 長瀬勝彦（東京都立大学）

【午前後半の部】11：15～12：20

会場	A会場	B会場	C会場
司会	高田一樹（南山大学）	葉山彩蘭（淑徳大学）	今井 祐（今井経済・経営研究所）
11:15-11:45	研究発表7 SDGs活動を促すドライバーに関する考察－SDGsとビジネス先進事例の分析－ 石田満恵（横浜国立大学）	研究発表9 Theoretical Research on Organizational Ethical Climate : Applications and Practices of Japanese Enterprises in China 劉慶紅（Ritsumeikan University）	研究発表11 女性社外取締役が企業の価値向上に果たす役割と効果 福田智美（学生・法政大学大学院）
11:50-12:20	研究発表8 日本企業のCSV活動の効果に関する提案と分析－共創パターンによる類型化と、活動の直接・間接効果－ 高田真也（早稲田大学） 大野高裕（早稲田大学）	研究発表10 Lessens we can learn from sustainable management of Japanese entrepreneurs in the Meiji period from the perspective of SDGs and ESG-case studies of Magosaburo Ohara and Tsurukichi Hatano 竹原正篤(Hosei University) 長谷川直哉(Hosei University)	研究発表12 非倫理的行動の類型化－職務不正と職務怠慢の先行条件－ 山口久瑠実（学生・北海道大学大学院）

【ランチタイム】12：20～13：00

【2021年度年次総会・表彰式】13：00～14：00（A会場）

【統一論題シンポジウム】14：10～17：30（A会場）

「ニューノーマル時代における経営倫理」 総合司会：文 載皓（第29回研究発表大会実行委員長・常葉大学）

14：10-14：50	【基調講演1】 大谷 到氏（ヤマハ発動機株式会社 上席執行役員 人事総務本部長） 「感性 X 技術」による価値創造～ヤマハの企業経営
14：50-15：25	【基調講演2】 李 彰洙氏（サムスン電子株式会社 常務取締役） Saving the Earth with Green Chips
15:25-15:45	基調講演に対する質疑応答
15：50-17：30	【パネルディスカッション】 ◆パネリスト◆ 大谷 到 氏 文 載皓 潜道 文子（当学会会長、拓殖大学副学長・教授） 村山 元理（当学会常任理事、駒澤大学教授） 加藤 裕則（当学会会員、朝日新聞静岡総局局長） ※モデレータ 10分前後、会場からのQA

【懇親会】17：30～19：00（18：30 中締め）

◇第2日目（6月20日 日曜日）

主催校：常葉大学（オンライン）

【入室開始】 9：30～

【午前前半の部】10：00～11：05

会場	A会場	B会場	C会場
司会	高浦康有（東北大学）	馬越恵美子（桜美林大学）	笹谷秀光（千葉商科大学）
10:00-10:30	研究発表 1 3 ナッジ理論は企業経営の何を変えるのか ー持続可能な開発目標（SDGs）への参 画を企業に促すリパタリアンパターンリズム 高田一樹（南山大学）	研究発表 1 5 Rethinking “Work Style Reform” in Japan: The Significance of Flow Experience from the Perspective of Meaningful Work 潜道文子(Takushoku University)	研究発表 1 7 日本における共通価値創造とサステナビリ ティ経営のあり方ー製薬企業の事例研 究ー 村瀬次彦（学生・法政大学大学院）
10:35-11:05	研究発表 1 4 国連によるSDGsの策定がCSR活動に及ぼ す影響：2014年と2019年の報告書におけ るトップ声明の分析 田中敬幸（高崎商科大学） 横田理宇（麗澤大学）	研究発表 1 6 An Analysis of SDGs Management in Japanese Companies based on Corporate Citizenship Business Model 葉山彩蘭(Shukutoku University)	研究発表 1 8 信用金庫職員のSDGs浸透度に関する属性分析 ー浜松磐田信用金庫の事例研究ー 石井彬史（学生・光産業創成大学院大学） 姜 理恵（光産業創成大学院大学） 林 順一（青山学院大学国際マネジメント学術フロン ティア・センター）

【午前後半の部】 11：15～13：05

会場	A会場	B会場	C会場
司会	高 巖（麗澤大学）	岡部幸徳（帝京平成大学）	浜辺陽一郎（青山学院大学）
11:15-11:45	研究発表 1 9 報酬と罰金が非倫理的行動に及ぼす影 響：アナグラムを用いた実証研究 松井亮太（山梨県立大学） 長瀬勝彦（東京都立大学）	研究発表 2 2 ステークホルダー理論の「企業と社会」論にお ける課題 中村貴治(長崎県立大学)	研究発表 2 5 米国取締役の専門性開示制度改革の動 向と米国地域銀行取締役の専門性の考 察 長谷川浩司（学生・関西大学大学院）
11:50-12:20	研究発表 2 0 わが国大手製造業に勤務する技術系転 職経験者の組織に関する意識調査：職 種内、及び職種間比較に基づいた一考察 絹村信俊（宮城大学）	研究発表 2 3 行動倫理学と不正な行動選択ー不正を読 み解く学際融合研究ー 水村典弘（埼玉大学）	研究発表 2 6 内部通報制度をめぐる通報の奨励と通報者 保護の関係性について 丁子基彦（学生・神戸大学大学院） 澤田雄介（新潟医療福祉大学）
12:25-12:55	研究発表 2 1 経営理念が人権問題や環境問題への取り 組みに与える影響についての一考察～日本 企業を対象とした分析～ 林 順一（青山学院大学国際マネジメント 学術フロンティア・センター）	研究発表 2 4 企業倫理研究に関する考察：文献サーベ イを中心として 寺本佳苗（麗澤大学）	研究発表 2 7 企業活動における幸福度指標のあり方 ～GNH of Businessを土台にして～ 出山 実（宮崎産業経営大学）
12:55-13:05	閉会式		